

第2回 東北地方新広域道路交通ビジョン等の検討に係る有識者会議

概 要

1. 日 時

平成 30 年 12 月 17 日(月) 13 時 30 分～15 時 00 分

2. 場 所

仙台合同庁舎B棟 13 階 水災害予報センター

3. 議 事

- (1) 前回及び今回の議事内容について
- (2) 東北地方新広域道路交通ビジョン(素案)について
- (3) ネットワーク設定の考え方について

4. 議事概要

○ビジョン素案について、以下の助言を頂いた。

- ・重要港湾が処理可能容量まで使われていない理由を追加すべき。
- ・ニーズと実態がミスマッチになっている物流企業数などを整理していくべき。
- ・災害時の対応ではミッシングリンクの解消が最優先。豪雪地帯では、4車線を確保することで、機能強化となるため、4車線確保の視点も必要。
- ・物流は、東北発着だけでなく東北地方を通過するものも把握する必要がある。

○ネットワーク設定の考え方について以下の意見を頂いた。

- ・拠点としてのランク付けをし、重要度の高い拠点を結ぶネットワークは、規格の高い道路とするなど、ネットワーク重要度の階層性の視点も追加すべき。
- ・拠点間の時間、災害時の迂回時間が何倍まで等の設定値の目安があるといい。
- ・観光拠点も入れた上で、取り残される地域がないようにして欲しい。



有識者会議の様子